

【対策のポイント】

- 都市化の急速な進展による流出量の増加等により、農地や住宅地等に湛水被害が生じるおそれ。
- このため、3か年緊急対策において、農業用排水路の改修を加速化。
- 令和元年台風19号、令和3年7月の豪雨では、農業用排水路の改修による流下能力の向上により湛水被害の発生を防止。

【取組地域の概要】

○位置

おだわらし
神奈川県 小田原市



おにやなぎ
鬼柳地区

神奈川県

○ 主要作物

・水稲、なす、きゅうり、梨、ほうれん草等

事業名	事業費	対策期間
農村地域防災減災事業	12億8,900万円	H29～R6
うち3か年緊急対策	1億6,800万円	H30

農業用排水路の改修を実施

- 農業用水路の老朽化に加え、都市化の急速な進展により豪雨時に短時間で流量が増加し、湛水被害が生じるおそれ。
- このため、特に緊急性が高い箇所を対象に、3か年緊急対策により農業用排水路の改修を実施。



豪雨による溢水状況



流下能力が不足している排水路

基盤整備

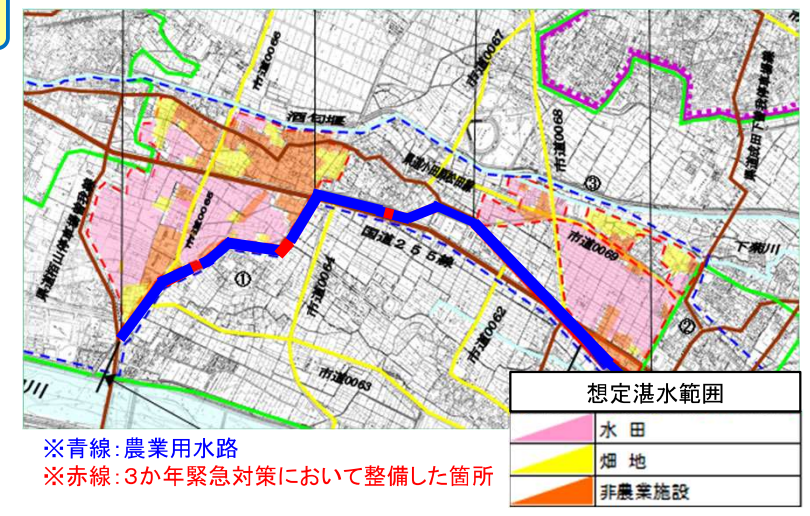
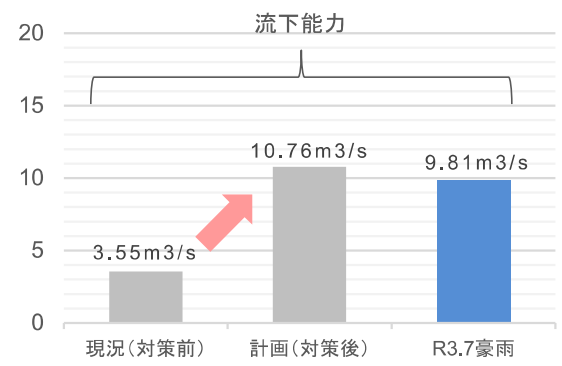
(H30～R2)



水路断面の改修により豪雨時の溢水を防止(令和3年4月)

農業用排水路改修による湛水被害の防止

- 令和元年10月の台風19号豪雨災害では時間雨量85.0mmを、令和3年7月の豪雨では24時間雨量228mmを記録。
- 従前では溢水による湛水被害が生じるおそれがあったが、流下能力を約3倍にする水路の改修を実施したことで、湛水被害を防止。



想定される被害(1/20確率降雨)

	想定被害額	想定湛水面積
改修前	21億円	30.3ha
改修後	被害なし	被害なし